



KDDI株式会社

個人投資家さま向け 会社説明会

2014年7月

本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 事業概況

3. 成長戦略

この配付資料に記載されている業績目標等は、いずれも当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは、経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績等は、この配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

会社概要

2

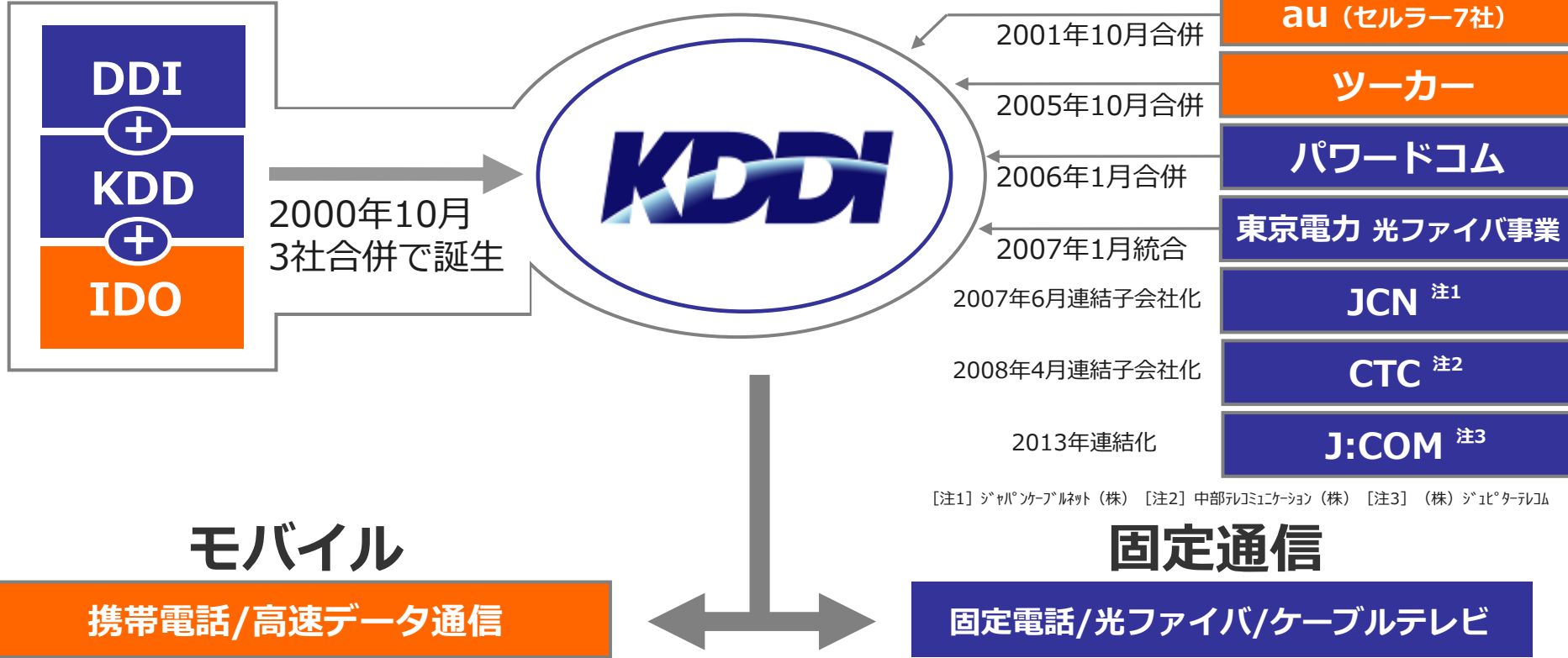
商号	KDDI株式会社	証券コード	東京証券取引所一部(9433)
創業	1984年6月1日	発行済株式総数	896,963,600株
業種	情報・通信	単元株式数	100株
代表取締役社長	田中 孝司	株価	6,020円 *3
主要株主の 状況 *1	京セラ株式会社 12.76%	時価総額	5.4兆円 *3
	トヨタ自動車株式会社 11.09%	配当利回り	2.66% *4
資本金	141,851百万円	PER (株価収益率)	11.5倍 *5
連結従業員数	27,073人 *2	PBR (株価純資産倍率)	1.9倍 *5

*1：出資比率ベース（2014年3月末時点） *2：2014年3月末時点 *3：2014年6月23日終値ベース *4：2014年度配当予想(4/30発表)6/23終値より算出

*5：2014年度予想（4/30発表）と6/23終値より算出

沿革

3

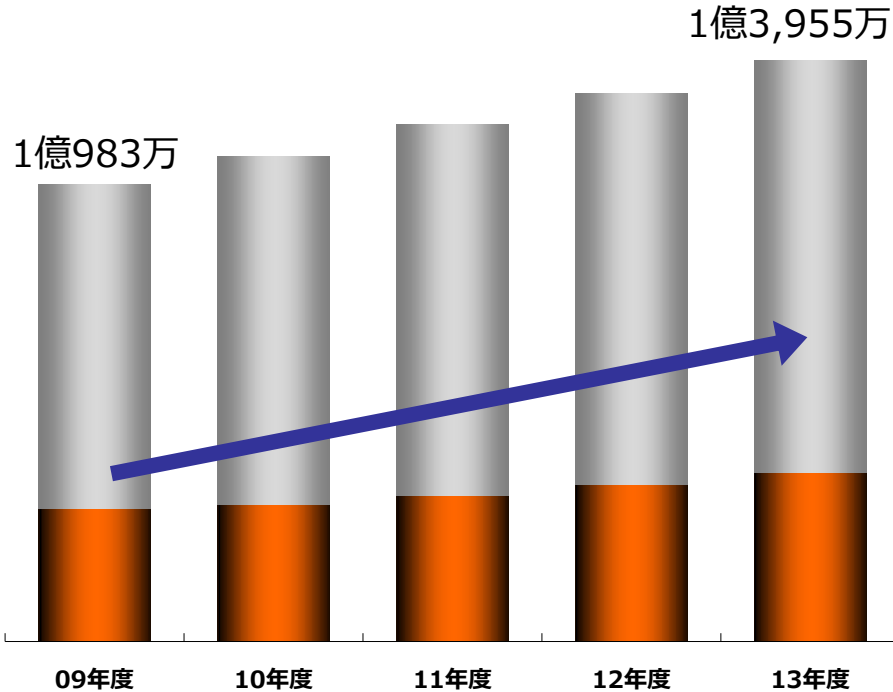


[注1] ジャパンケーブルネット (株) [注2] 中部テレコミュニケーション (株) [注3] (株) ジェル・テレコム

KDDI = 総合通信事業者

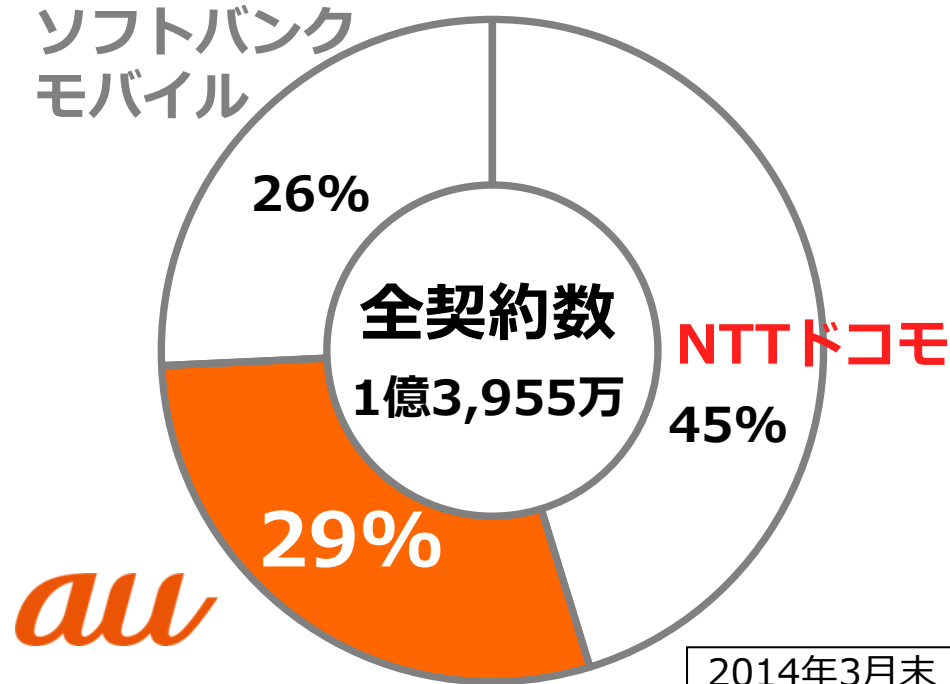
日本のモバイル通信市場

携帯電話契約数



*3社合計 (NTTドコモ,ソフトバンクモバイル,au)

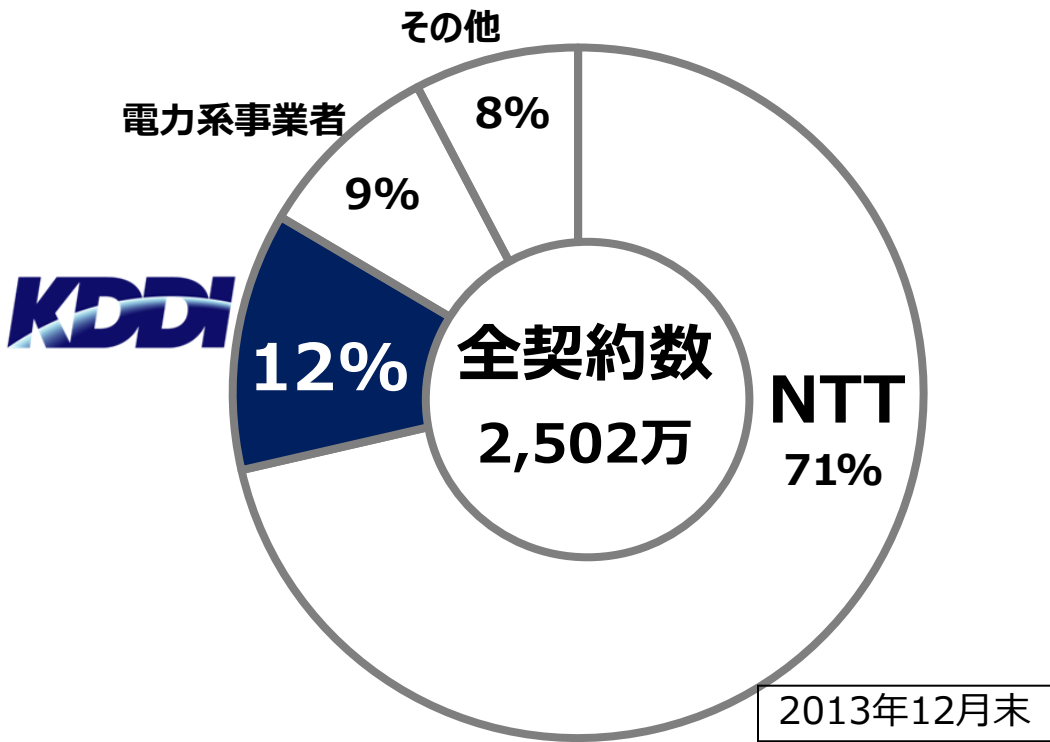
市場シェア



*3社間シェア (NTTドコモ,ソフトバンクモバイル, au)

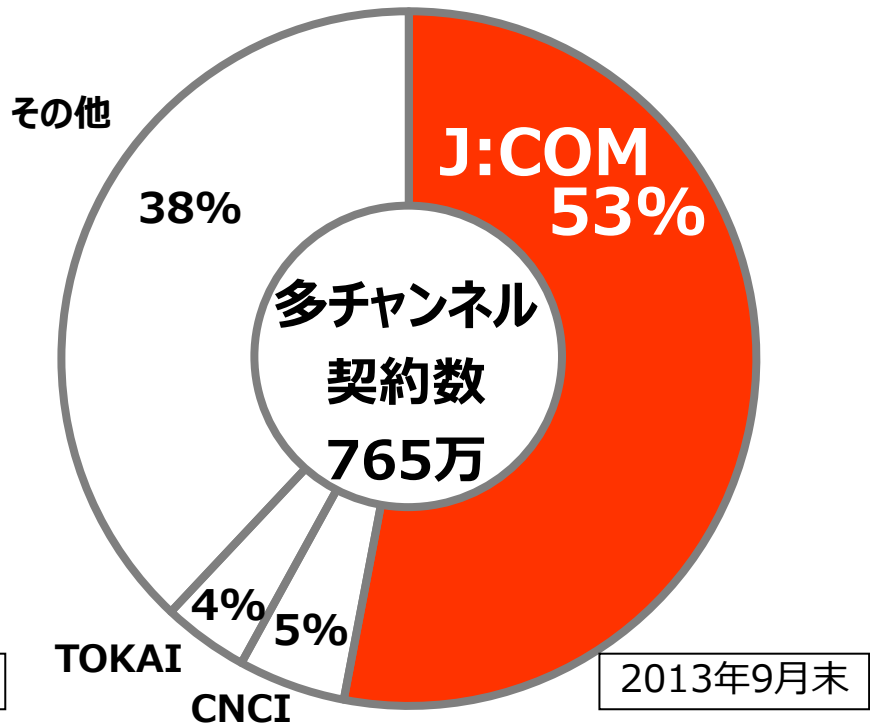
日本の固定通信市場

光ファイバ* 市場シェア



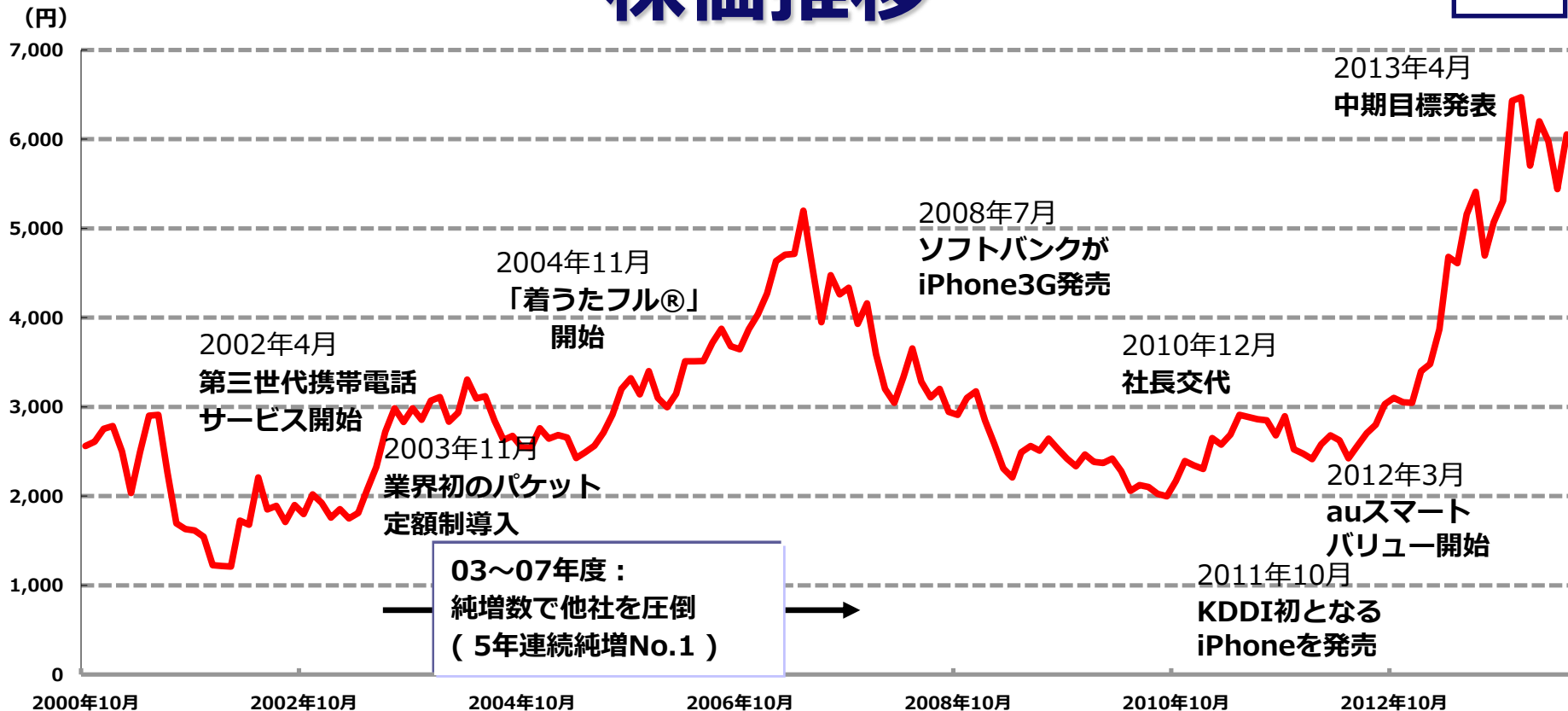
* インターネットサービスの契約がある回線数
* 出典：総務省

ケーブルテレビ 市場シェア



* JCNは2014年4月1日にJ:COMと合併したため、J:COMに含む
* 放送ジャーナル（2013年12月号）を基に当社作成

株価推移

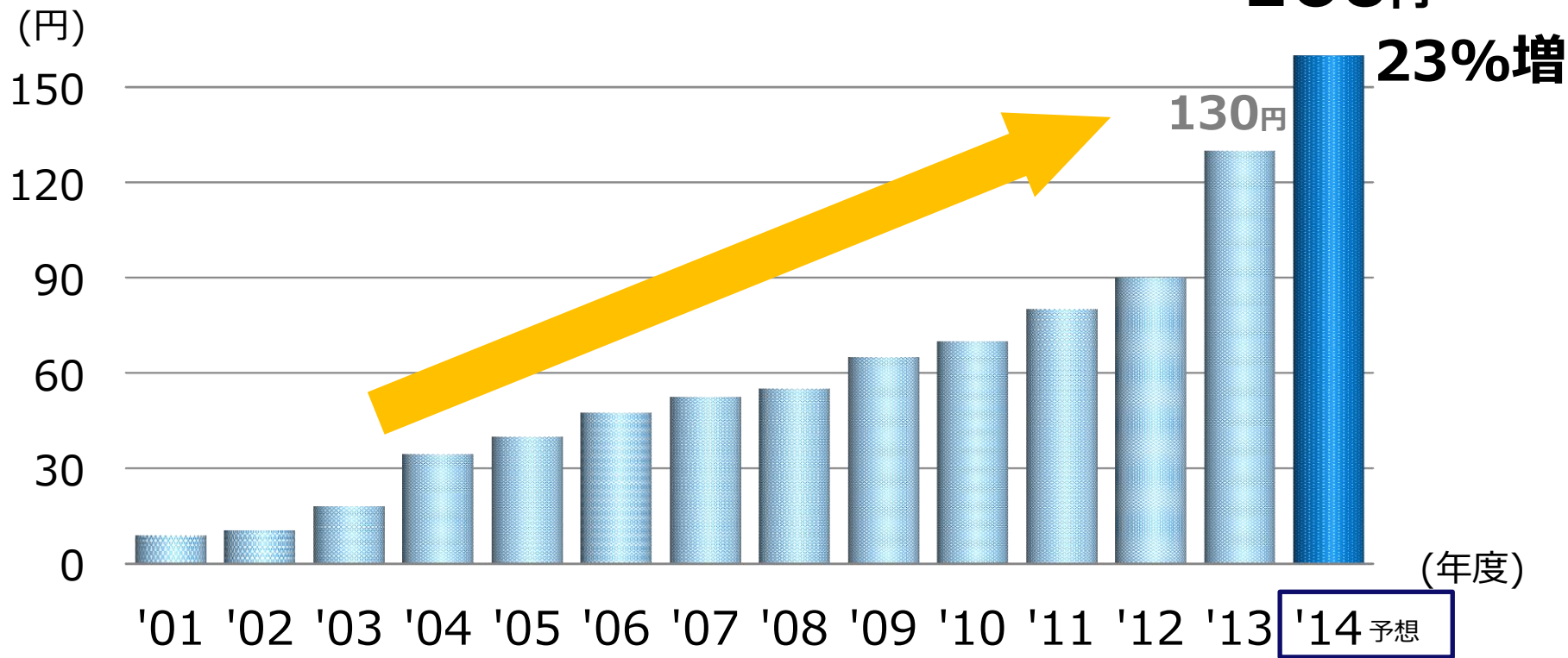


*期間：2000年10月31日～2014年5月30日（月末終値ベース）

*2013年4月1日に投資単位引き下げを伴う株式分割（普通株式1株につき2株の割合をもって分割）を実施。
上記株価推移は、当該株式分割を考慮した場合の金額推移。

1株あたり年間配当金

13期連続増配予定



株主優待制度のスタート

保有株式数や保有期間に応じて、
au端末購入にご利用いただける優待券を贈呈 単位：円

	1年未満	1～5年未満	5年以上
100～999株	5,000	8,000	10,000
1,000～1,999株	10,000	13,000	15,000
2,000株以上	15,000	18,000	20,000

クーポン受取

株主さま



ショップ



新規契約・機種変更

購入代金充当



本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 事業概況

3. 成長戦略

営業収益

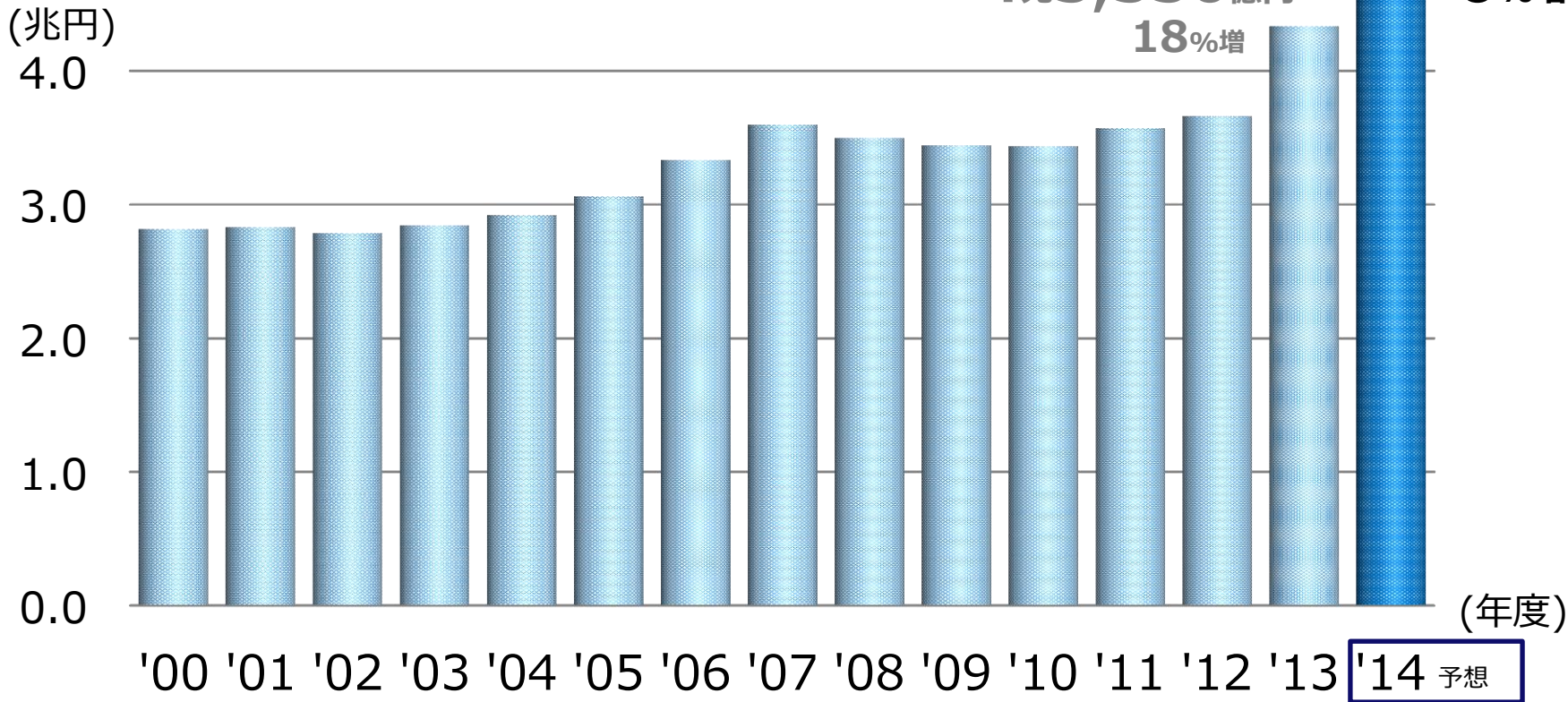
4兆円超え

4兆6,000億円

4兆3,336億円

6%増

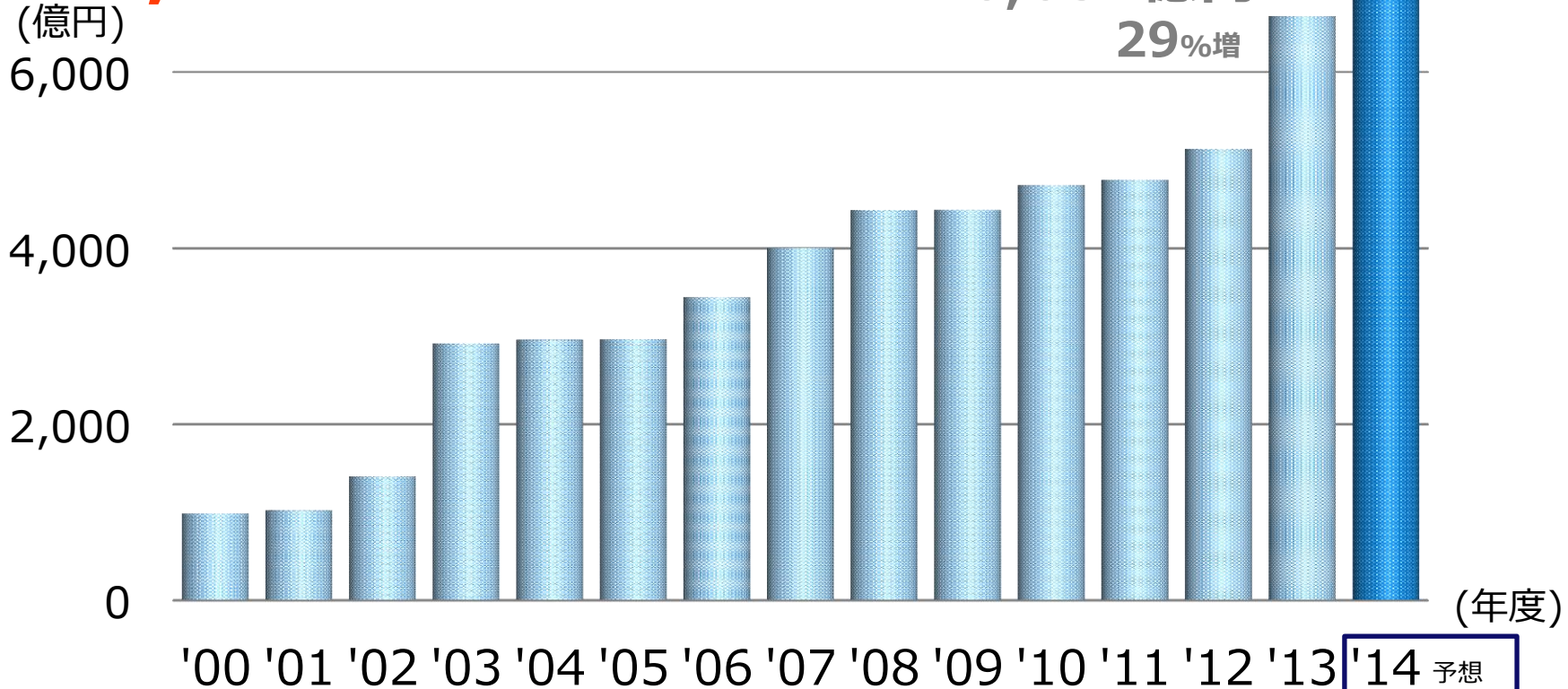
18%増



営業利益

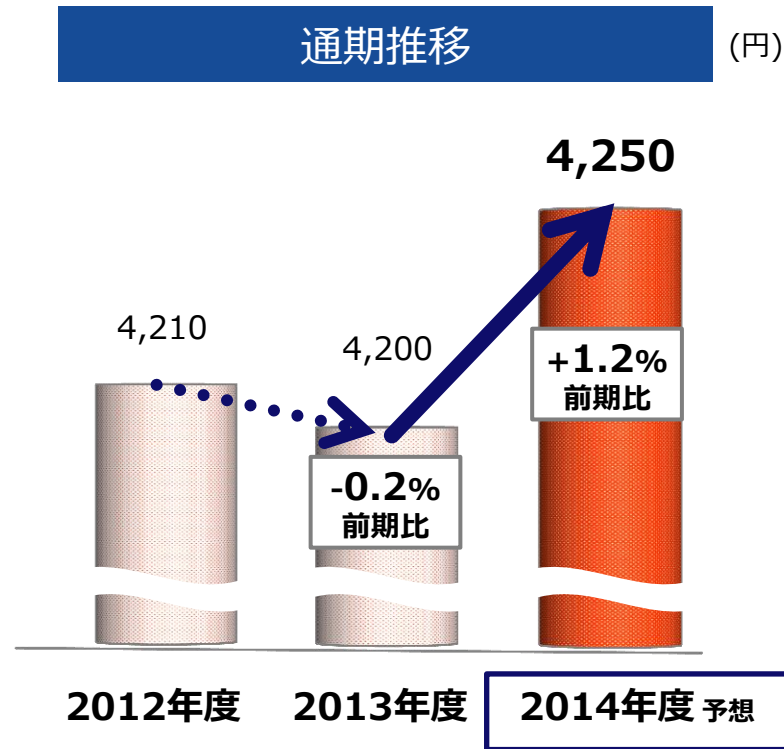
11

7,000億円超え



au通信ARPU

通期比較で反転へ



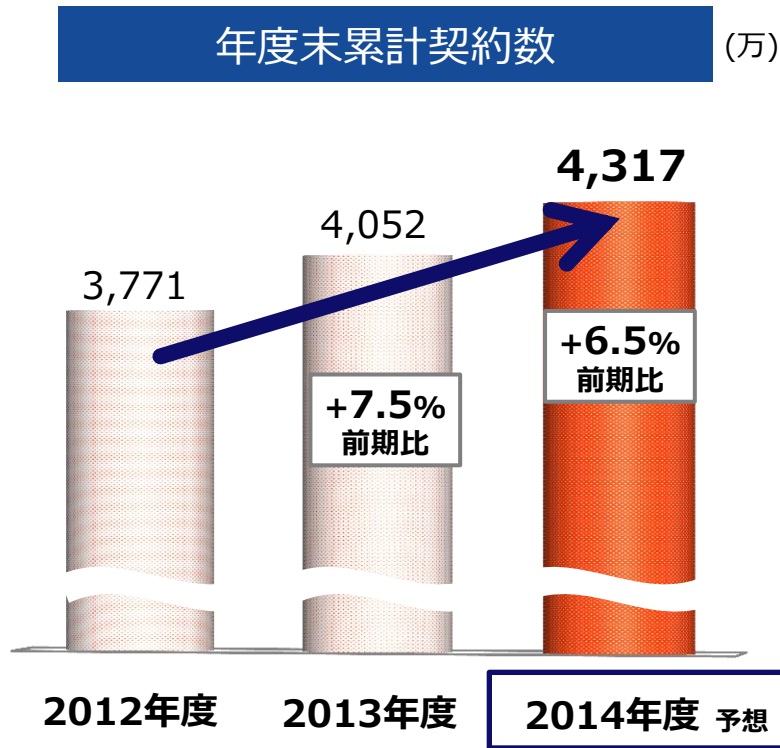
*au通信ARPU=[音声(割引前)]+[データ]-[割引適用額]

*au通信ARPUの定義は、パーソナルセグメントにおけるデータ専用端末、タブレット、モジュールを除く、モバイル累計契約数で算出

au契約数

265万の純増を目指す

累計契約数は、
前期比 +6.5%の拡大



おかげさまで、2014年2月24日には

あたらしい自由。

au

4,000万契約突破!!

**KDDIは全社を挙げて
お客さま満足度向上に力を入れています**

**携帯電話サービス
顧客満足度
2年連続 No.1**



ケーブルテレビ事業の強化

もっと、あなたに響くこと。
J:COM



2013年4月

日本最大のケーブルテレビ事業者
ジュピターテレコムを連結化

2013年12月

ジュピターテレコムが
ジャパンケーブルネットを子会社化

2014年4月

ジュピターテレコムと
ジャパンケーブルネットが合併

市場シェア*
53%

持続的な利益成長と株主還元強化

17

2013年度

今後

(2014年度から2015年度まで)

利益成長

➤ 連結営業利益

前期比
29%成長



毎期成長率
2ケタ

➤ EPS*

前期比
27%成長



利益成長に伴う大幅成長

➤ 配当性向

33%



配当性向
30%超

株主還元

➤ 自己株式取得

経営の選択肢として検討

* EPS (Earnings per Share): 1株当たり当期純利益

本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 事業概況

3. 成長戦略

国内事業の環境変化

ケータイからスマートフォンへシフト



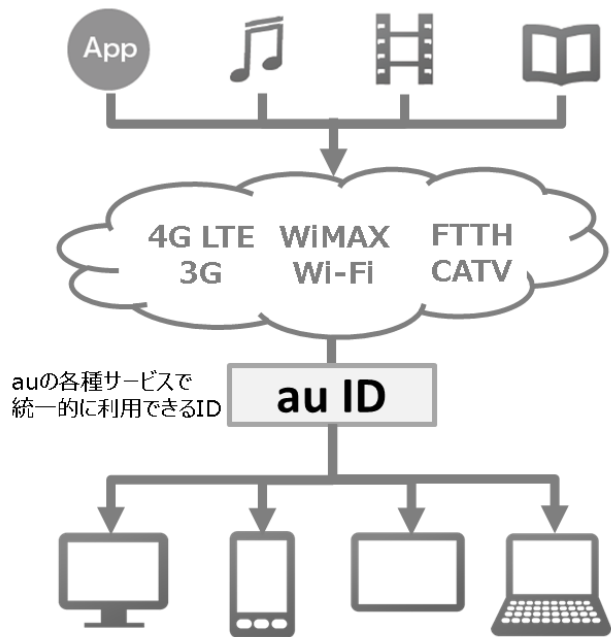
さまざまなサービスを
場所や端末を選ばず利用

モバイルデータ通信量の急増



国内事業の成長戦略

国内事業の成長戦略 = “3M戦略”



マルチユース

色々なコンテンツやサービスを

マルチネットワーク

いつでもどこでも最適なNWで

マルチデバイス

好きなデバイスで利用できる

成長のキーファクター

お客さま 1 人
あたりの売上
(ARPU)

付加価値売上



auスマートパス

通信料収入

au

スマートフォン

光ファイバー
ケーブルテレビ

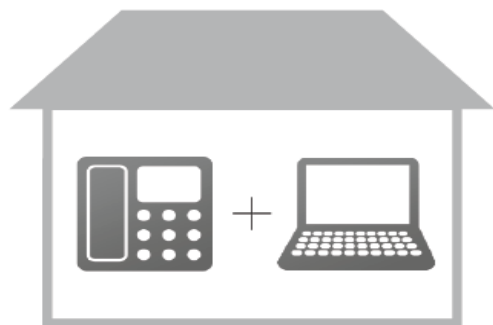
auスマートバリュー

お客さま数
(ID)

3M戦略の主なサービス（1）

auスマートバリュー

通信ビジネスのお客さま基盤拡大



対象の固定回線
(電話+インターネット)



合計5,640円/月(税抜) OFF

1,410円/月(税抜) OFF

1,410円/月(税抜) OFF

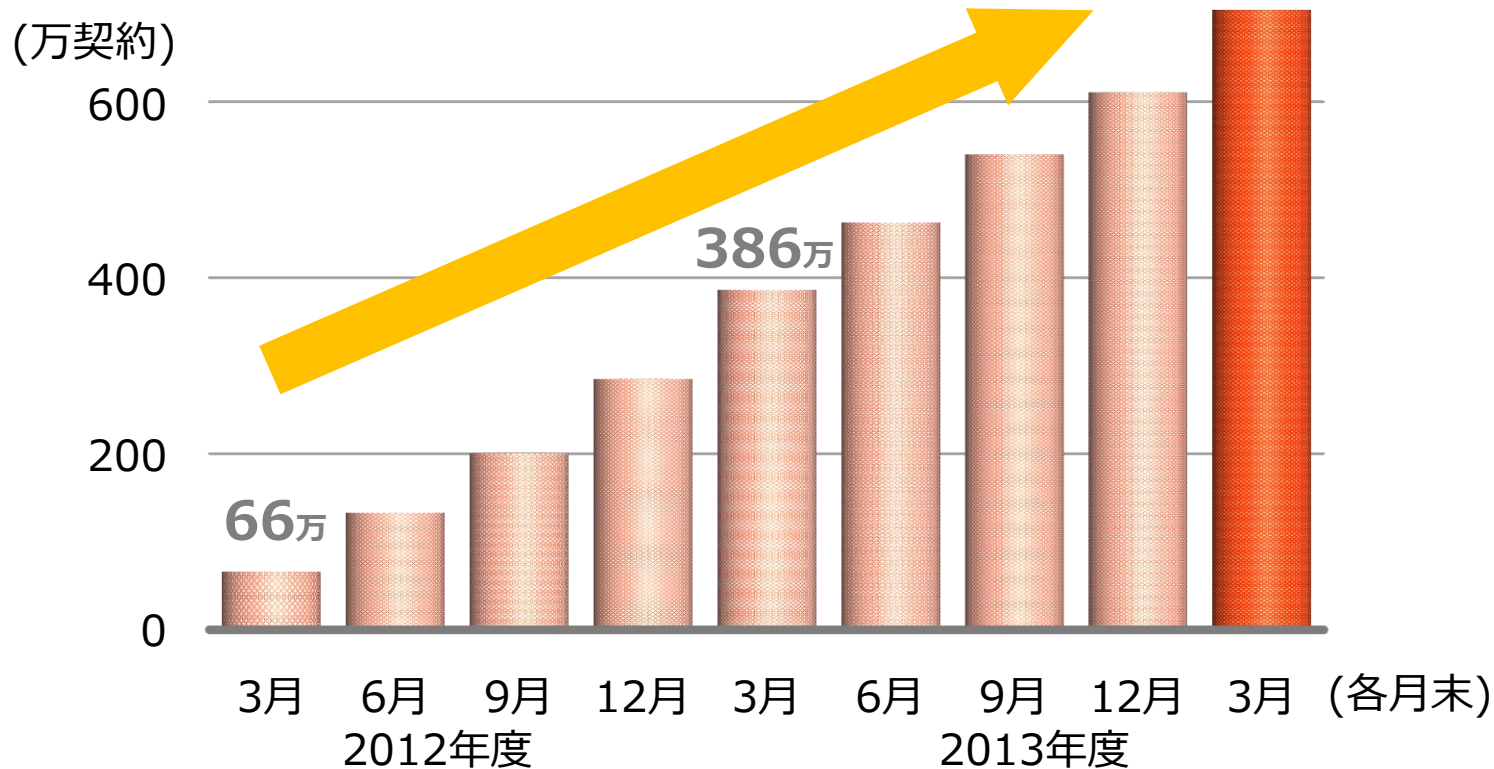
1,410円/月(税抜) OFF

1,410円/月(税抜) OFF

上記の金額は最大2年間適用されます。

お客さま基盤は着実に拡大

auスマートバリュー(モバイル) 705万契約



3M戦略の主なサービス (2)



auスマートパス

付加価値創出による売上拡大

<p>コンテンツ使い放題</p> <p>ゲーム、エンターテイメント、音楽、写真・ビデオ、占い、コミュニケーションツール、ライフサポート、etc...</p>	<p>ストレージ</p> <p>au Cloud</p> 	<p>ラッキーな会員特典</p> <p>コンビニ 割引券 コーヒーショップ 割引券</p> <p>20%OFF クーポン ...etc.</p>	<p>もっと安心</p> <p>TREND... ウイルスバスターモバイル for auスマートパス</p> <p>セキュア検証 お客さまセンター</p>
---	---	---	---



¥372円/月(税抜)



※コピーライト：©NAVITIME JAPAN, ©ボルテージ, 株式会社CAIメディア / 株式会社e-Junction, © Studio Ghibli 提供：KDDI株式会社, 株式会社クオン, c1989-2013 コーエーテックモゲームス All rights reserved., J.LEAGUE MEDIA PROMOTION, INCJ. LEAGUE PHOTOS, INC.

2014年3月17日には



auスマートパス

1,000万契約突破!!

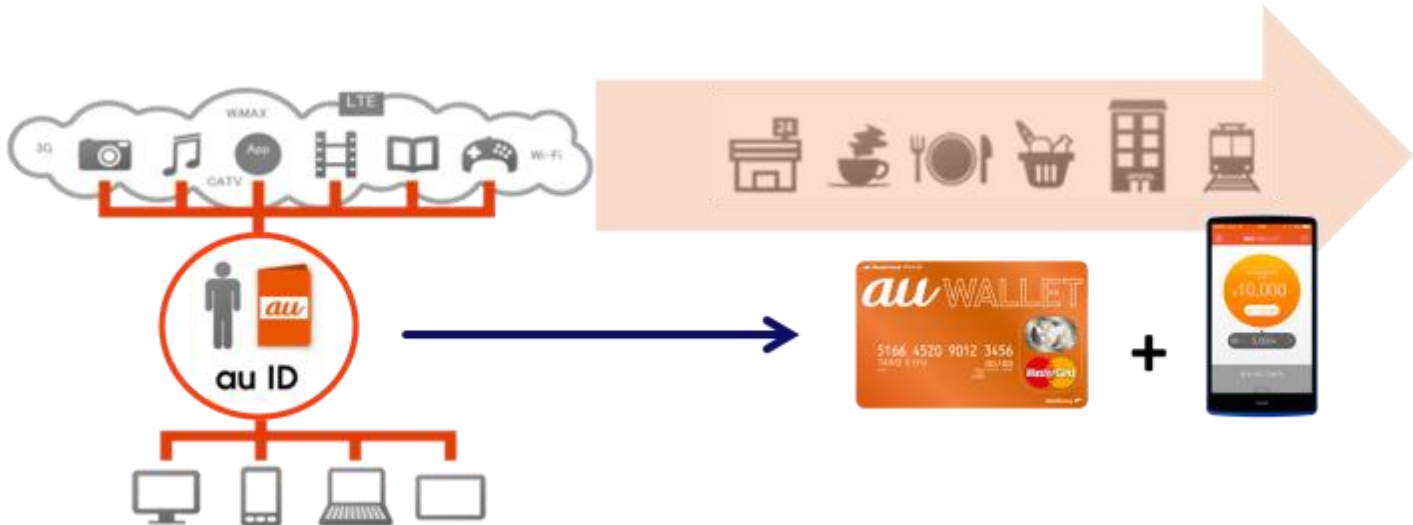
サービス開始から2年

「au WALLET」の開始

電子マネー事業への参画 ～バーチャル（ネット）からリアル（実店舗）へ～

バーチャル（ネット）

リアル（実店舗）



「au WALLET」の開始

電子マネー事業への参画
～auユーザは誰でもカードを持つことが可能～



電子マネーのように気軽に持てる

クレジットカードのように色々なお店で使える

もちろんポイントも貯まる

申込数は
5/8受付開始から6/15に **累計200万を突破**

通信ネットワークの整備

LTEの高速ネットワークを大幅に強化

サービス開始から1年半、“最速”でエリアを整備

～800MHz au 4G LTE 実人口カバー率～

800MHz
プラチナバンド

あたらしい *au* 4G LTE

99%

2014年3月14日達成

*「最速でエリアを整備」とは、各社エリアマップを元に当社にて調べた結果に基づきます。

*「実人口カバー率」とは、全国を500m四方に区分けしたメッシュのうち、当社サービスエリアに該当するメッシュに含まれる人口の総人口に対する割合です。

*4G LTEエリア内でも、電波状況により3G通信となる場合またはご利用いただけない場合があります。

*対応機種：4GLTE対応のAndroid™、iPhone5s、iPhone5c、iPad、iPad Air、iPad Mini、Retinaディスプレイモデル

最新技術のLTE-Advanced(CA)を導入

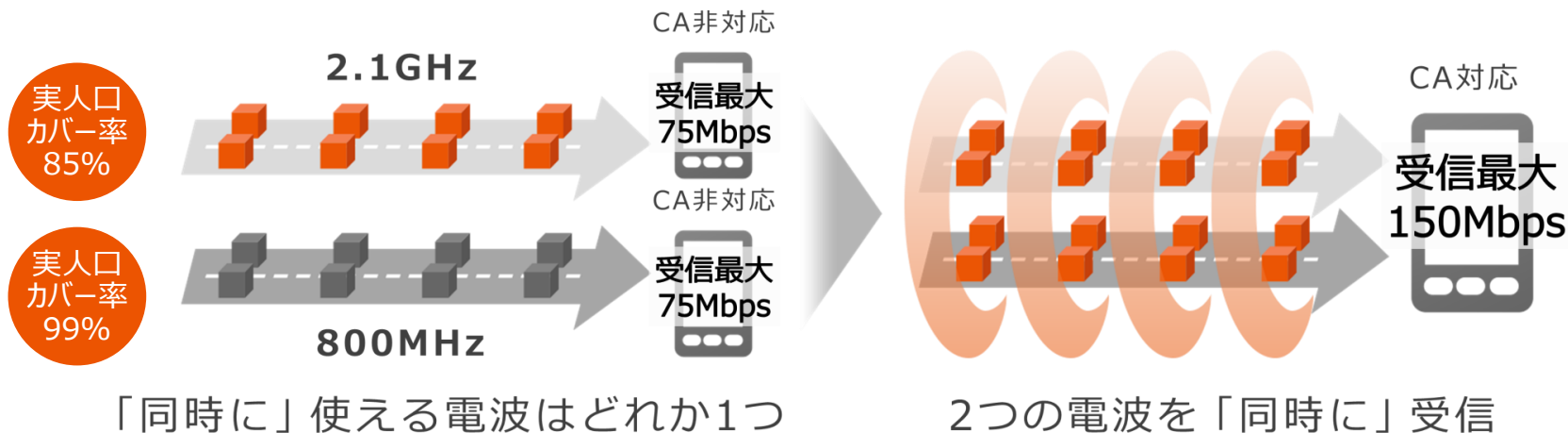
CA:キャリアアグリゲーション(Carrier Aggregation)
受信最大速度150Mbpsの超高速通信を実現

au 4G LTE

これまでのau 4G LTE

au 4G LTE

LTE-Advanced



*記載の速度は技術規格上の最大値であり、実使用速度を示すものではありません。お客様のご利用環境、回線の状況により大幅に低下する場合があります（ベストエフォートサービス）。

*「キャリアアグリゲーション」とは、複数の周波数ブロックを束ね、仮想的に広帯域化することで高速通信を行うLTE-Advancedの通信技術です。

*800MHz帯/2.1GHz帯のそれぞれの帯域幅が10MHzの場合のイメージ図です。800MHz帯/2.1GHz帯エリアのすべてでキャリアアグリゲーションが可能となる訳ではありません。対象機種キャリアアグリゲーション対応のモデルに限ります。ごく一部エリアより順次拡大予定

グローバル事業の成長戦略

グローバル事業の推進

34

～成長を支える礎～

グローバルICT
(法人向け)

データ
センター

ネット
ワーク

クラウド
/SI

～規模拡大のエンジン～

グローバルコンシューマ
(個人向け)

新興国での
新事業

米国での
MVNO

法人向け: データセンターを中心に拡大



13地域・24都市・42拠点

個人向け: 米国でのMVNO事業

米国子会社2社が他社携帯回線を
借り受けてサービスを提供



本日のまとめ

2015年度まで

持続的な事業成長と株主還元を継続

事業成長

営業利益
2ケタ増益

株主還元

配当性向
30%超

Designing The Future

KDDI